

熱帯寄生虫学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Bao LQ, Nhi DM, Huy NT, Hamano S, Hirayama K.: Tacrolimus prevents murine cerebral malaria. *Immunology* 2016, 150(2): 155-161. (IF=4.078)
2. Ghosh P, Bhaskar KR, Hossain F, Khan MA, Vallur AC, Duthie MS, Hamano S, Salam MA, Huda MM, Khan MG, Coler RN, Reed SG, Mondal D.: Evaluation of diagnostic performance of rK28 ELISA using urine for diagnosis of visceral leishmaniasis. *Parasit Vectors*. 2016; 9(1): 383. (IF=3.234)
3. Mitsui Y: Development of a simple and specific direct competitive ELISA for the determination of artesunate using an anti-artesunate polyclonal antiserum. *Trop Med Health* 2016; 44: 37.
4. Mondal D, Hasnain MG, Hossain MS, Ghosh D, Ghosh P, Hossain H, Baker J, Nath R, Haque R, Matlashewski G, Hamano S.: Study on the safety and efficacy of miltefosine for the treatment of children and adolescents with post-kala-azar dermal leishmaniasis in Bangladesh, and an association of serum vitamin E and exposure to arsenic with post-kala-azar dermal leishmaniasis: an open clinical trial and case-control study protocol. *BMJ Open*. 2016; 6(5): e010050. (IF=2.562)
5. Nzou SM, Fujii Y, Miura M, Mwau M, Mwangi AW, Itoh M, Salam MA, Hamano S, Hirayama K, Kaneko S.: Development of multiplex serological assay for the detection of human African trypanosomiasis. *Parasitol Int*. 2016; 65(2): 121-127. (IF=1.860)

A-b

1. Deloer S, Nakamura R, Mi-Ichi F, Adachi K, Kobayashi S, Hamano S.: Mouse models of amoebiasis and culture methods of amoeba. *Parasitol Int*. 2016; 65(5 Pt B): 520-525. (IF=1.860)
2. Mi-ichi F, Yoshida H, Hamano S.: *Entamoeba* encystation: new targets to prevent the transmission of amebiasis. *PLoS Pathogens* 2016, 12(10): e1005845. (IF=7.003)

A-e

1. Hasnain MG, Shomik MS, Ghosh P, Rashid MO, Hossain MS, Hamano S, Mondal D.: Post kala-azar dermal leishmaniasis without previous history of visceral leishmaniasis. *American Journal of Tropical Medicine and Hygiene* 2016; 95(6): 1383-1385. (IF=2.453)

B 邦文

B-b

1. 中村梨沙・見市文香・Sharmina Deloer・濱野真二郎: アメーバ赤痢、臨床免疫・アレルギー科 「特集 I 寄生虫感染と生体防御・免疫系」、2016; 65(5): 412-418.
2. 森保妙子・中村梨沙・濱野真二郎: 感染症の現状 ～3大感染症から新興・再興感染症、NTDs、医学の歩み 「連載 グローバル感染症最前線 ～NTDsの先へ」、2016; 258(3): 252-257.
3. 渡辺恒二・濱野真二郎: アメーバ赤痢、化学療法の領域 「特集 消化管感染症発症のメカニズム」、2016; 32(9): 1696-1705

B-c

1. 濱野真二郎: リンパ系糸状虫症、イヌ糸状虫症、寄生虫薬物治療の手引き 改訂 9.0 版、熱帯病治療薬研究班、2016、62-63, 68.
2. 濱野真二郎: 鉤虫症、今日の治療指針、医学書院、2016、292.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	3	0	0	13

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
濱野真二郎 ・教授	理事 (会計・NPO 法人化担当) 評議員	日本熱帯医学会

濱野真二郎 ・教授	評議員、教育委員会委員	日本寄生虫学会
濱野真二郎 ・教授	動物実験委員会委員	長崎大学
濱野真二郎 ・教授	運営委員会委員、会計委員会委員	先端生命科学研究支援センター
濱野真二郎 ・教授	学務委員会委員、入試委員会委員、会計委員会委員	医歯薬学総合研究科
濱野真二郎 ・教授	非常勤講師（医学部学生への講義）	九州大学・医学部
濱野真二郎 ・教授	非常勤講師（大学院学生への講義）	九州大学・大学院医学研究院
濱野真二郎 ・教授	非常勤講師（医学部学生への講義）	奈良県立医科大学
濱野真二郎 ・教授	非常勤講師（医学部学生への講義）	山口大学・大学院医学系研究科
加藤健太郎 ・助教	学会プログラム委員	日本糖質学会
中村梨沙 ・助教	非常勤講師（講義）	長崎外国語大学

競争的資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
濱野真二郎 ・教授	GHIT	Co-PI	Live attenuated prophylactic vaccine for leishmaniasis
濱野真二郎 ・教授	長崎大学	代表	第三期重点研究課題（H28年度） アフリカにおける複合リスクの統合的研究 基盤の構築 ～新たなグローバルヘルスへ 向けて
濱野真二郎 ・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究 (B) 南アジアにおけるアメーバ赤痢の免疫学的 コホート研究
濱野真二郎 ・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究 (B) 潜在性結核の検出と、結核の発症予知技術の 確立を目指した、ケニア国における調査研究 （代表：松本壮吉）
濱野真二郎 ・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究 (B) バングラデシュにおける PKDL 発症機序の 解明（代表：小林隆志）
濱野真二郎 ・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究 (B) 顧みられない熱帯病に対する予防および治 療を目的とした革新的技術の開発 （代表：佐々木均）
濱野真二郎 ・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究 (B) リーシュマニア症ワクチン開発に向けた宿 主免疫記憶機構の包括的解明

			(代表：前川洋一)
濱野真二郎 ・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究 (B) 省力的空間分布把握システムによる糸状虫 症根絶の確認と再燃の早期発見 (代表：伊藤誠)
濱野真二郎 ・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究 (B) マラリア病態を規定する防御免疫・免疫抑制 のバランスに関するケニアでの調査研究 (代表：由井克之)
濱野真二郎 ・教授	長崎大学・熱帯医学研究所	分担	熱帯医学研究拠点 一般研究集会 シンポジウム：寄生虫感染と免疫応答 (代表：吉田裕樹)
濱野真二郎 ・教授	長崎大学・熱帯医学研究所	分担	熱帯医学研究拠点 一般共同研究 ヒトマラリアに認められる免疫抑制の調査 研究 (ケニア) (代表：木村大輔)
加藤健太郎 ・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究 (C) 腸管寄生原虫の病原性発現機構の解明
加藤健太郎 ・助教	長崎大学・熱帯医学研究所	分担	熱帯医学研究拠点 一般共同研究 原生生物カブサスポラの <i>Schistosoma mansoni</i> に対する捕食行動 (代表：菅 裕)
加藤健太郎 ・助教	長崎大学・熱帯医学研究所	分担	熱帯医学研究拠点 一般共同研究 赤痢アメーバにおける表面レクチンサブユ ニット (Igl) の機能解析 (代表：橘裕司)
中村梨沙 ・助教	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 若手研究 (B) 腸赤痢アメーバ症の慢性化と重症化におけ るグループ 2 自然免疫リッ ^o 球の機能解明
中村梨沙 ・助教	長崎大学・熱帯医学研究所	分担	熱帯医学研究拠点 一般共同研究 赤痢アメーバにおけるコレステロール硫酸 とシスト形成との関連性の証明 (代表：見市〔三田村〕文香)